

常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

総務水道常任委員会

◆部設置条例の一部を改正する条例

改正の目的と変更点は、施設の長寿命化、計画的な維持管理等を含めた公共施設の一括管理を見据え、営繕に関する事務を総務部に移管する。また、子ども・子育て支援新制度への移行に伴い、保育園・幼稚園を一括化していく。なお、現行の子育て支援課は事務量増加により、子育て支援課と保育幼稚園課に分ける。

賛成全員で可決

◆平成25年度一般会計補正予算

消費税法等の改正に伴う影響は、

消費税等の引き上げにより変更契約が必要な事業においては、新たに債務負担行為を設定する必要があるので補正をしている。変更契約が必要な事業は26事業、契約数は44本である。

賛成全員で可決

◆平成26年度一般会計予算

衛生費国庫補助金の社会資本整備総合交付金の内容は、「防災・安全交付金事業」として位置付けされているもので、市民安全課において実施する道路照明施設点検に対する交付金である。

賛成多数で可決

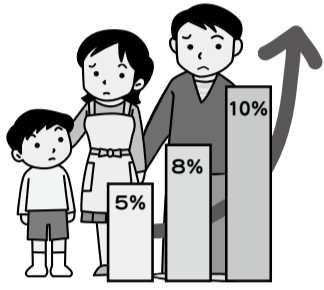
◆平成26年度水道事業会計予算

4月からの消費税改正に伴う平均的な家庭への影響は、収益事業全体への影響額は約3460万円であり、平均的な家庭では使用水量39㎡(2ヶ月)で131円である。

賛成多数で可決

◆請願審査

各委員による意見陳述を行った。可否同数委員長採決で不採択



文教福祉常任委員会

◆平成25年度一般会計補正予算

障害福祉費介護・訓練等給付費について、訓練によって自立の促進が期待されることから重要である。現状の給付費内容は、吉川フレンドパークで実施する生活介護が最も多額になっており、約3分の1を占める。他に占める割合の大きいものとして就労継続支援があげられ、その他居宅介護などがある。

賛成全員で可決

◆平成26年度一般会計予算

給食材料費について、どのようにに選定、発注しているか、また食材の決定は、第一、第二保育所分をまとめて、食材ごとの価格を比較して決定し、複数の見積りの中から金額の低い業者に発注している。生活保護費について、平成25年8月から物価下落を理由に引下げが行われているが、被保護者は苦しい生活を営んでいる認識を問う。

今回は低所得者との比較や地域性なども考慮し生活扶助費のみ見直し、3段階で最大10%の引下げが行われる。制度は国が定めるものである。

英語指導助手が8月に帰国するが、レイクオースエゴ市との友好を深める意味で継続確保を。派遣される指導助手の指定は

できない。今回は特別な配慮で派遣頂いた。今後検討していく。待機児童の年齢構成は、平成27年度から入所できる保育所はどの程度定員が増えるのか。待機児童は105名で0歳18名、1歳43名、2歳31名、3歳11名、4歳2名。定員は認可保育園60名、認可並の認可外保育施設が70名。

建設生活常任委員会

◆平成25年度一般会計補正予算

道路維持費の109万6千円の減額補正を行っているが、内容は何か。備品購入費の2トランプ購入の契約額の確定によるもの。

賛成全員で可決

◆平成26年度一般会計予算

集会施設補修等事業補助金について、要望の積み残しは無いのか。要望は100%実施。住宅用太陽光発電設備設置補助金の減額理由は、条件件数が伸びていない為、条件を見直し、利用喚起を行う。LED道路照明灯導入計画策定業務委託料について何を行うのか。

導入の際の電気料金、費用分析、灯器の選定、リース期間等を検討し計画を策定する。

常任委員会等の構成が変わりました！

常任委員会の任期満了に伴う臨時会を2月4日に開催し、新たな構成が決まりました。

(◎=委員長、○=副委員長)

- ◆総務水道常任委員会
◎安田真也、○加藤克明、野口博、高野昇、伊藤正勝、降旗聡、互金次郎、松崎誠
- ◆文教福祉常任委員会
◎小野潔、○中村喜一、松澤正、佐藤清治、遠藤義法、稲葉剛治
- ◆建設生活常任委員会
◎中嶋通治、○五十嵐恵千子、山崎勝他、小林昭子、稲垣茂行、齋藤詔治
- ◆議会運営委員会
◎松澤正、○遠藤義法、安田真也、中嶋通治、高野昇、五十嵐恵千子、稲垣茂行
- ◆議会広報委員会
◎加藤克明、○小野潔、中村喜一、小林昭子、伊藤正勝、互金次郎、松崎誠
- ◆東埼玉資源環境組合議会議員
中嶋通治、稲垣茂行、松崎誠
- ◆吉川松伏消防組合議会議員
加藤克明、中村喜一、小林昭子、五十嵐恵千子、伊藤正勝
- ◆江戸川水防事務組合議会議員
安田真也、佐藤清治、互金次郎



水田農業振興事業のなかで、農地活用促進事業費補助金が無いのはなぜか。今後、農地中間管理機構を通じた事業が進めば補正予算を計上する。耐震診断、耐震改修補助金は昨年に比べどの様な位置づけになっているのか。平成25年度補助金額の拡充を行い、耐震診断、改修とも10件を見込んでいます。南中学校周辺の浸水被害解消について、抜本的な解決策と、事業はいつ頃になるのか。最終的な排水先である大場川、第二大場川の河川改修が重要となる事から、県へ河川改修の要望を行っていく。小公園に新しい遊具の設置要望があるが、計画は有るのか。様々な要望があり、検討する。

賛成多数で可決